

2021年5月12日

各位

**潰瘍性大腸炎を対象とした核酸医薬品「MT-5745 (STNM01)」の  
開発中止および減損損失（非経常項目）発生のお知らせ**

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：上野 裕明、以下「田辺三菱製薬」）は、MT-5745（STNM01、想定適応症：潰瘍性大腸炎）の開発中止に伴い、それに係る無形資産を2020年度決算において減損処理することになりましたので、お知らせします。

当社は2017年度に、株式会社ステリック再生医科学研究所（以下、「ステリック社」）を買収し、STNM01（糖硫酸転移酵素15（CHST15）阻害 siRNA、二本鎖 RNA 製剤）を取得しました。その後、当社開発品（MT-5745）として、潰瘍性大腸炎の本格的な臨床試験開始に向け、ステリック社のデータを補完するため、様々な非臨床試験を実施しましたが、十分な効果を確認できずプロジェクトの中止に至りました。また、これに伴い、MT-5745に係る無形資産（仕掛研究開発費）について、減損損失（非経常項目）39億円を2020年度決算において計上しました。

田辺三菱製薬グループは、病と向き合うすべての人に希望ある選択肢をお届けできるよう、これからも研究開発を進めてまいります。

以上

**田辺三菱製薬株式会社 コミュニケーションクロスローズ部**

（お問合せ先） 報道関係者の皆様 TEL：06-6205-5119